

平成 26 年度 第 8 回 理事会議事録

日時：平成 26 年 11 月 25 日（火）19：00～20：10

場 所：県士会事務所

出席：(理事) 小林伸、高村、磯野、有泉、藤田、青柳、
北山、古屋、笠井、井村
(部長) 鈴木、大内、菅谷、加納、
(委員長) 山田

欠席：なし

書記：伊東・木村

会員管理情報

慶事 0 件 弔事 1 件 施設数 120 会員数 752 休会 35 名

I. 審議事項（全 1 題）

1. 表彰委員会：協会賞の規定変更と推薦について
(藤田事務局長)

承認 平成 26 年 11 月 1 日に規定の改正があり、前協会賞である功労分野の規定が厳しくなったため、該当者がいない状況。成果分野にて石黒先生(健康科学大学)を推薦することが承認された。来年度に向けて事務局で協会賞の該当者を確認していく。

II. 報告事項（全 12 題）

1. 関東甲信越ブロック理学療法学会準備委員会：第 16 回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会報告

(山田委員長)

関係機関への後援依頼を準備中。JPTA ニュースへの掲載、新潟県士会学会・埼玉県士会学会での広報活動を準備中。協賛を依頼する企業、養成校を把握中。フェイスブックを立ち上げ、県内外への広報を広める。千葉からの申し送りで A2 ポスターの配布の必要性について検討中。公開講座の講師選定は県士会公開講座部と連携して検討中。プログラムに症例報告・セレクション発表を入れる予定。協賛企業の情報については、福祉総研の小林先生、りほく病院の杉田先生に伺うようにとの意見があった。

2. 地域支援事業等推進委員会：進捗状況

(磯野副委員長)

リーダー研修会については計画作成中。年度末か 4 月以降に開催する予定。

3. 選挙管理委員会：選挙ポスターについて

(藤田事務局長)

ポスターを作成したので、各職場に掲示願います。選挙期間は平成 27 年 1 月～3 月。

4. 医療保険部・介護保険部：医療・介護報酬に関す

る基礎的研修会について

(笠井福祉厚生局長)

10 月 21 日・23 日に研修会を開催した。参加人数は 1 回目 28 名、2 回目 22 名で、地域包括ケアシステムに関連した内容も取り入れた。アンケートでは勉強になったとの意見が多かった。診療報酬、介護報酬に関して興味を持っている会員は多いが、保険制度や報酬を理解している会員は少ないので、今後も研修会を継続して開催していきたい。

5. 生涯学習部：新人教育プログラムについて

(北山学術局長)

第 1 回新人教育プログラムを開催した。参加人数は A-1「理学療法倫理」61 名、E-3「国際社会と理学療法」59 名、B-3「統計方法論」36 名、D-1「社会の中の理学療法」96 名であった。B-3「統計方法論」の参加人数が少なかった要因は、学士取得者は免除になるためだと思われる。今後は担当講師には予め参加者が少なくなる旨を説明した方がよいとの意見が出された。

6. 委託事業部：県立大学からの講師依頼について

(古屋社会局長)

あけぼの医療福祉センターの小林正典先生に講師依頼の了承を得た。PT、OT だけでなく、ST も含めた内容を検討してほしいとの意見があった。

7. 委託事業部：山梨県立介護実習普及センターからの講師派遣依頼について

(古屋社会局長)

石和温泉病院の水上卓先生に講師依頼の了承を得た。講座名は「介護職場人材育成研修」で対象は介護職のリーダークラスである。

8. スポーツ理学療法部：活動報告

(古屋社会局長)

チーム活動について航空高校卓球部より継続の依頼があり、今後も関わっていく方向で調整中。予算など含め、活動できる範囲で行なうよう指摘があった。勉強会については 11 月 27 日に第 56 回、1 月 10 日に第 57 回、2 月～3 月に第 58 回を開催予定している。スクールトレーナーに関しては、3 士会合同学術大会で講師として招かれる植松光俊先生(株式会社リハステージ、運動器の 10 年・日本協会理事)から情報を得る場を設けて頂きたい。関東甲信越スポーツ支援代表者会議について会場は関ブロ準備委員会で確保する。日程・人員についてはスポーツ理学療法部で確認する。

9. 総務部：緊急時連絡網について

(鈴木総務部長)

緊急時連絡網は 5 グループに分けて連絡していく。新規の受け付けは随時行い、①～⑤グループへ順番に入れ込み、その都度該当グループの施設代表者へ新しい連絡網をメールで送る。新規で入る場合・抜

ける場合のルールを作成し、連絡網に説明を載せて配布することとなる。規定集は部長まで配布する。

10. 財務部：未納会員について

(大内財務部長)

未納会員のリストを回覧する。未納会員へは督促状を送付予定。県士会で作成した文書に協会の督促文書載せる形で作成していく。

11. 財務部：支払調書について

(大内財務部長)

平成26年1月から12月までの講師の氏名・住所を12月2週目までに連絡していただきたい。

12. 事業管理部：ホームページ業務委託進捗状況について

(菅谷事業管理部長)

11月17日にマグネティックラボ担当者とヒヤリング・打ち合わせを実施した。今後は1～2週間でヒヤリングシート作成とサイトの構造を部内で検討し作成していく。各部局で専用ページの必要性の有無を検討していただきたい(情報更新が頻繁な部局はブログ形式で、少ない部局は固定ページでも対応可)。カラーリングやデザインについて意見があれば事業管理部まで連絡をいただきたい。素材(写真など)・原稿の収集の協力を願いたい。各部毎にホームページ担当者を選定し、今後は担当者間で連絡し検討していくこととなる。担当者の選定については12月5日までに事業管理部に連絡を。委員会のホームページ担当者の選定の連絡は事務局で行う。

Ⅲ. その他

1. 会長挨拶

11月2日に全国組織委員会(旧士会長会議)へ高村副会長が代理で参加し厚労省から話があった。地域支援事業推進委員会で研修会が開催されパンフレットも完成した。今後は会員へ向けての研修会なども検討していく必要がある。

(小林会長)

2. 日本リハビリテーション病院施設協会から地域リハビリテーションコーディネーター養成研修会の案内があり藤田が参加した。山梨でブロック毎の研修会を山梨県3士会で協力し年度内に開催することとなった。内容は県主催の介護予防研修会のようなもの。講師の選出は日本リハビリテーション病院施設協会で行う。

(藤田事務局局長)

3. 県の医療功労賞に藤本先生を推薦したが残念ながら今年度の受賞とならなかった。

(小林会長)

4. 次回の理事会日程について

日時 平成26年12月16日(火)19:00～

場所 県士会事務所

駐車場：湯村温泉病院敷地内

連絡 12月12日(金)までに審議事項および資料を事務局(藤田)へ提出する。

議題がない場合でも、事務局へ連絡する。